

釧路白糠工業用水道企業団 工業用水道事業経営戦略
(釧路白糠工業用水道事業)

団 体 名	: 釧路白糠工業用水道企業団
事 業 名	: 釧路白糠工業用水道事業
策 定 日	: 令和 3年 3月
計 画 期 間	: 令和 3年度 ~ 令和12年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 給水

供用開始年月日	平成14年4月1日	契約水量	3,460 m ³ /日
給水先事業所数	16件	一日平均配水量	2,990 m ³

② 施設

水 源	<input type="checkbox"/> 表流水, <input checked="" type="checkbox"/> ダム, <input type="checkbox"/> 伏流水, <input type="checkbox"/> 地下水, <input type="checkbox"/> 湖沼水, <input checked="" type="checkbox"/> その他			
施 設 数	浄水場設置数	1	管 路 延 長	17,723 m
	配水池設置数	1		
現 在 配 水 能 力	11,160 m ³ /日	計 画 配 水 能 力	11,160 m ³ /日	

③ 料金

料 金 体 系 の 概 要 ・ 考 え 方	<p>※責任使用水量制 (釧路白糠工業用水道企業団工業用水道事業給水条例第22条) 責任使用水量制は契約水量の全部又は一部を使用しなかった場合であっても、契約水量まで使用したものととして料金を負担する制度です。 基本料金: 50円/m³ 特定料金: 50円/m³ (給水能力に余裕がある場合、1か月から3か月以内の期間で給水できる水量です。(期間更新可)) 超過料金: 100円/m³ (基本使用水量又は特定使用水量を超えて使用した水量が超過使用水量になります。) 上記料金は消費税及び地方消費税額が含まれていません。</p>
料 金 改 定 年 月 日 (消費税のみの改定は含まない)	平成17年4月1日

④ 組織(令和3年4月1日 現在)

<p>企業長1名(白糠町長) 副企業長2名(釧路市副市長1名、白糠町副町長1名)</p> <p>工業用水道課 4名(うち2名は白糠町職員が兼務する。) 白糠町職員2名 参与1名(白糠町企画総務部長)、工業用水道課長1名(白糠町企画総務部企画財政課長) 企業団職員2名 主幹1名(事業係長兼務)、管理係長1名 ※組織図は別紙のとおり</p>

(2) これまでの主な経営健全化の取組

<p>・給水区域の拡大(平成20年度) 給水区域外で操業する木材・木製品製造企業から供給要望があったことから、隣接するコイトイ団地を給水区域に追加し水需要の拡大を図った。</p> <p>・雑用水の供給(平成21年度) 畜産食料品製造業を操業する企業から雑用水の供給要望があったことから、給水管布設費用を企業団が負担し、契約水量の増量を図った。</p> <p>・経費の削減 職員人件費を減額し経費削減を図った。 基本給を10%削減 (平成17年度~18年度) 基本給を 3%削減 (平成19年度~21年度) 補償金免除繰上償還を実施し企業償還利息の軽減を図った。(借入利率5%以上が対象) 地方公共団体金融機構資金(平成20年度繰上償還) 財政融資資金(平成21年度繰上償還)</p>

(3) 経営分析

※経営分析に用いる指標については、総務省が毎年度公表している「工業用水道事業経営指標」等を参考に各団体、各施設の实情に応じて適切なものを選択すること。

料 金 収 入	(H29)	78,430千円	(H30)	86,648千円	(R1)	91,925千円
純 損 益	(H29)	0千円	(H30)	0千円	(R1)	0千円
経 常 収 支 比 率	(H29)	100.0%	(H30)	100.0%	(R1)	100.0%
固 定 資 産 に 対 す る 建 設 仮 勘 定 の 割 合	(H29)	0.0%	(H30)	0.0%	(R1)	0.0%
現 在 配 水 能 力 に 対 す る 契 約 率	(H29)	29.03%	(H30)	35.39%	(R1)	31.45%
現 在 配 水 能 力 に 対 す る 施 設 利 用 率	(H29)	29.33%	(H30)	30.29%	(R1)	32.18%
料 金 回 収 率	(H29)	53.04%	(H30)	62.33%	(R1)	65.89%

【上記の指標等を踏まえた経営分析】

契約率及び料金回収率は類似団体と比較し低い値となっている。
受水ユーザーが求める良質な工業用水道を供給するため、給水原価は高い値となり、運営費用に対する収入不足分を一般会計の繰入金により補填している。
料金は増収傾向となっているが、今後の施設更新改修費の財源確保が必要となることから、関係機関と連携し水型企業の誘致など更なる水需要の拡大に努め、経費削減と効率的な維持管理により経営改善に努める必要がある。

2. 将来の事業環境

(1) 水需要の予測

現在、新規用水型企業の進出予定はなく、計画期間内の契約水量は横ばいで推移するものと見込まれる。

年間契約水量(給水件数:16件(13企業))
令和2年度～1,417,690立方メートル
令和3年度見込～1,489,660立方メートル
令和4年度以降～1,500,000立方メートル

※未分譲産業用地 6.4ha(工業団地第1工区)

(2) 料金収入の見通し

令和4年度以降、料金収入は横ばいで推移するものと見込まれる。(水産食料品製造業の繁忙期の使用水量により収入の増減がある)

料金収入額(税込額)
令和2年度～93,883千円(決算額)
令和3年度見込～94,000千円(超過水量含む)
令和4年度以降～94,500千円(超過水量含む)

(3) 施設の見通し

新規施設の建設予定なし
工業用水道施設運転開始から19年が経過し、電気計装、機械設備については耐用年数を迎えていることから、更新改修計画に基づき費用の平準化に努めながら計画的に更新を行っていく。

施設能力:11,160m³/日を維持する。

(4) 組織の見通し

職員定数は「釧路白糠工業用水道企業団の運営に関する条例」で定めている。(職員定数は4名)
令和3年3月現在、2名体制とする。(主幹職1名(57歳)、管理係長1名(48歳))
計画期間内に職員1名(施設管理担当)が定年を迎えるため、計画的な人員配置に努め、職員体制の最適化を図っていきます。

3. 経営の基本方針

釧路白糠工業用水道事業は、良質で低廉な工業用水を供給することにより、水産食料品製造業を中心とする企業の水処理コストの削減に貢献し、地域経済はもとより雇用の確保に寄与している。このことから本事業は、釧路市、白糠町の施策として重要な産業基盤を支えるものであり、今後の企業誘致の推進を図るためにも、料金を低く設定した政策的な部分を重視した運営を行っている。また工業用水を安心して利用していただくため、受水企業との信頼関係を維持・継続することが重要であり、今後も地域経済活動を支え更なる発展を促すためにも、工業用水の安定供給と事業の健全化を通じて地域経済の発展・活性化に貢献するべく、次の基本方針に基づき事業経営に取り組んでいきます。

- (1) 安全で良質な工業用水を安定供給するため、計画的、効率的な施設整備を実施していきます。
- (2) 安価な料金を維持するため、新規用水型企業の誘致など水需要の拡大と、効率的な運営管理により経営健全化に努めていきます。

4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり
- (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明
- ① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	施設・設備について、適正な修繕対応により施設の延命化を図り、更新改修計画に基づき計画的に更新を行い投資額の平準化に努める。
-----	---

<p>計画期間内の主な事業費は下記のとおりです。</p> <p>【機械設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導水設備 事業費 12,600千円 (R4・6年度) ・凝集沈殿設備 事業費 45,100千円 (R3・4年度、R7・8年度、R10・11年度) ・ろ過設備 事業費 66,600千円 (R3～5年度、R9～12年度) ・薬品注入設備 事業費 7,800千円 (R3・7年度) ・送水ポンプ設備 事業費 35,900千円 (R5～9年度) ・排泥、排水施設 事業費 9,300千円 (R6・8年度) <p>【電気・計装設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視制御設備 事業費 6,200千円 (R5・8・11年度) ・流量計 事業費 9,100千円 (R6・8年度) ・水質計器 事業費 9,900千円 (R5・7年度) ・電力設備 事業費 13,000千円 (R4～7年度、R12年度) <p>ア 投資計画の策定に当たっては、以下の点に留意する。</p> <p>I. 計画的な施設の更新 電気・機械設備について、機能を十分に発揮できるよう日常の点検管理を徹底し、耐用年数と施設の現状を検証しつつ、計画的に更新を実施します。</p> <p>II. 投資の平準化 適正な施設修繕により、更新費用の平準化を図り、過大投資にならないように努めていきます。</p> <p>イ 計画期間における主な投資は、以下のとおりです。</p> <p>I. 建物～更新予定なし</p> <p>II. 電気設備更新 令和4～7年度に受電盤機器等、非常用発電装置を更新予定</p> <p>III. ポンプ設備更新 令和4・6年度に導水ポンプ、令和7～9年度に送水ポンプ、令和8年度に排泥・排水施設ポンプを更新予定</p> <p>IV. 機械設備更新 令和3・4年度に緩速攪拌機、制御・表洗弁、令和3・7年度に薬品注入機、令和6年度に汚泥掻寄機、令和9～12年度にろ過材、表洗装置を更新予定</p> <p>V. 計装設備更新 令和5～8年度に流量計、水質計器を更新予定</p>
--

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	契約水量の確保と運営経費の抑制に取り組み、一般会計の負担を軽減する。
-----	------------------------------------

<p>ア 財政計画の策定に当たっては、以下の点に留意しています。</p> <p>I. 一般会計負担の軽減 運営経費の抑制に取り組み、一般会計負担の軽減に努めます。</p> <p>II. 料金収入の維持 用水型企業の誘致促進により、契約水量の確保に努めます。</p> <p>イ 計画期間における財源の概要は、以下のとおりです。</p> <p>I. 料金収入 計画期間内の料金改定は実施しない。(安価な料金を維持し、用水型企業の誘致促進を図る) 令和4年度以降、横ばいで推移見込み。</p> <p>II. 補助金 運営費対する収入不足分は、他会計補助金(一般会計繰入金)により補てんしている。 一般会計負担金は、減価償却費、支払利息の減額により減少見込み。</p> <p>III. 企業債 計画期間内の企業債借入なし(企業債償還終期: 令和14年度)</p> <p>IV. 他会計出資金 建設改良費及び企業債元金に対し、内部留保資金を充ててもなお不足する額について、他会計出資金により補てんしている。 他会計出資金の継続(令和10年度まで)</p>
--

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

<p>ア 収支計画のうち投資以外の経費については、以下の点に留意しています。</p> <p>I. 固定経費の見直し 施設維持管理に係る固定費について、過度な支出がないか見直しを行います。</p> <p>II. 修繕費用の縮減 効率的・計画的な修繕により最大の効果を得られるよう十分な検討を行います。</p> <p>イ 計画期間における投資以外の経費は、以下のとおりです。</p> <p>I. 職員給与費 計画期間内の職員1名の定年到達に伴い、再任用職員及び新規採用職員1名分の人件費を計上します。</p> <p>II. 維持管理費(修繕費、負担金) 定期的な修繕のほか、令和4年度に汚泥掻寄機、令和10、11年度に緩速攪拌機の整備を予定しています。 負担金はダム維持管理に係る共同事業者負担金を計上しています。</p> <p>III. 減価償却費 償却資産に係る減価償却費を計上しています。</p> <p>IV. 支払利息 企業債利息を計上しています。(計画期間内の新規借入なし)</p>
--

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※ 投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。
 また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間内の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュール等について記載する必要があること。

① 投資についての検討状況等

民間の資金・ノウハウ等の活用 (PFI・DBOの導入等)	—
施設・設備の廃止・統合 (ダウンサイジング)	—
施設・設備の合理化 (スペックダウン)	—
施設・設備の長寿命化等の 投資の平準化	計画的更新により、投資額の平準化と施設の長寿命化を図り、更新費用の抑制に努めます。
施設の共有化	—
その他の取組	—

② 財源についての検討状況等

料 金	企業進出の状況を踏まえ、料金水準の適正化について検証する。
企 業 債	—
繰 入 金	一般会計負担金、一般会計出資金を継続する。
資産の有効活用等(*)による 収入増加の取組	—
その他の取組	—

* 遊休資産の売却や貸付、債券運用の導入、小水力発電や太陽光発電など

③ 投資以外の経費についての検討状況等

委 託 料	—
修 繕 費	修繕により長寿命化が可能な施設について検討を行い、投資の削減を図る。
動 力 費	—
職 員 給 与 費	—
その他の取組	—

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、 更新等に関する事項	経営戦略の進捗管理を毎年度実施し、計画の内容について検証を行います。 工業団地の企業立地状況や経営状況などの変化を計画に反映し、随時見直しを行います。
-------------------------	--

(別紙)

令和3年4月1日現在

釧路白糖工業用水道企業団 組織図

